

シニアのための Market Eye (2018 年 8 月 16 日)

8 月 15 日終値

NY ダウ	ナスダック	S&P500	シカゴ日経先物	米 10 年債	NY原油先物
25,299.92 (+112.22)	7,870.89 (+51.19)	2,839.96 (+18.03)	22,000 円 ↓	2.862% ↓	65.01 (-2.03)

VIX指数は 14.64 前日比 (+1.33) ↑ ドルインデックスは 96.59 前日比 (+0.04) ↑
 ・独 Dax 12,163.01 (-195.86) 仏Cac 5,305.22(-98.19) 英FT 7,497.87(-113.77)
 ・独 10 年債利回り:0.301%(-0.023%) 英 10 年債利回り:1.222%(-0.038%)

15 日発表の主要経済指標	前回	予想	結果
英 7 月消費者物価指数 (前年比)	2.4%	2.5%	2.5%
米 7 月小売売上高 (前月比)	0.2%	0.1%	0.5%
米 7 月小売売上高 (除く自動車 前月比)	0.2%	0.3%	0.6%
米 8 月 NY 連銀製造業指数	22.6	20.0	25.6
米 4-6 月期労働生産性 (前期比)	0.3%	2.4%	2.9%
米 4-6 月期単位労働コスト (前期比)	3.4%	0.0%	-0.9%
米 7 月鉱工業生産 (前月比)	1.0%	0.3%	0.1%
米 7 月設備稼働率	78.1%	78.2%	78.1%

15 日 17 時以降のドル円 15 分足チャート



◇昨日のトピックス

- ・トルコリラは反発、対ドルで一時 5.0 リラ台へ、対円で 19 円付近へ
- ・トルコは通貨スワップを制限し、リラ売りを抑制
- ・VIX指数は一時 16.82(前日比+26%)へ上昇、終値は 14.64%(前日比+10%)
- ・人民元は対ドルで 6.9049 元へ下落して取引を終了、昨年 5 月以来の安値更新
- ・上海株は 2%超下落の 2,723.636 で取引終了、景気減速や資本流出懸念
- ・南ア中銀が声明で経済の弱さや成長減速に言及、2018 年成長率 1.2%見通し
- ・米 4-6 月期労働生産性は 2015 年 1-3 月期以来最大の前期比年率 +2.9%
- ・カタールがトルコへの直接投資 150 億ドルを確約 ⇒ 反応も一時的
 (昨年末時点でトルコの対外債務:4500 億ドル、外貨準備:1073 億ドル)

◇昨日(15日)の概況

昨日東京市場のユーロは昨年7月以来となる1.1317ドルへ下落したほか、ポンドも1.2695ドルと昨年6月以来の水準へ下落し、欧州序盤に。

トルコリラは反発に転じ、対ドルで5.0リラ台、対円でも19円付近へ反発したもののトルコと米国の両大統領による非難合戦への警戒のほか、米国人牧師の釈放を巡る思惑など依然予断を許さない状況にあり、反転への警戒も。

トルコの裁判所が米国人牧師の釈放を認めない判断を下したとの報道に市場は反応薄。

欧州株安に加え、NYダウ先物の大幅安、さらに日経平均先物も下落する中、米長期金利も低下、ドル円は110円台後半へ下落。

昨日発表された中国7月小売売上高、鉱工業生産などの経済指標が予想を下回り景気減速懸念が意識される中、トルコ政府が一部米国製品への関税引き上げを表明したことで米国の報復関税措置への警戒感も台頭し上海株が2%超の下落。こうした影響が欧州株の下落につながり、ユーロはNY市場で1.1301ドルへ下落。

またユーロ円も124円91銭と5月29日(124円62銭)以来の安値へ下落。

ポンド円も昨年8月以来となる139円93銭へ下落。

さらに中国の景気減速懸念が商品価格の下落につながりNYダウは一時334ドル安まで下落したことからリスク回避の動きが強まりドル円は110円44銭まで下落。

その後、カタールがトルコへの直接投資150億ドルを確約との報道からトルコ円が18円92銭まで反発。しかし、昨年末時点のトルコの対外債務は4500億ドル、外貨準備も1073億ドルまで減少しており、今年年初時点での資金需要2200億ドルを賄うには資金不足が指摘されているだけに、反応も一時的。

また、NYダウも取引終盤にかけて約100ドル安まで下げ幅を縮小したことからドル円は110円75銭まで反発。しかし、ドル円は4月24日以来3カ月半ぶりに終値で一目均衡・日足・雲の上限(111円18銭)を下回って取引を終えただけに、ドル円の反発も限られ110円69銭で昨晚の取引を終了。

◇【NY株式市場】ダウ:25,162.41(-137.51) ナスダック:7,774.12(-96.78)

①NY株式市場、トルコ政府が一部米国製品への関税引き上げを表明したほか、昨日の中国経済指標が予想を下回り上海株が2%超の下落。これらが欧州株の全面安へつながり、NY株式市場も売り先行。中国ネット企業大手のテンセントの四半期決算が予想外の減益となったことを受け、ハイテク株に売りが広がったほか、原油相場の下落も嫌気され、終日軟調推移、ダウは一時334ドル安。

②シカゴ日経平均先物は前日比320円安の22,000円で取引を終了。

高値は22,355円、安値は21,845円

◇本日の注目材料

- ・ドル円は日足・雲の上限(111円18銭)を回復できるか、雲の下限(110円37銭)を割込んでしまうのか注目。ユーロ円やポンド円、豪ドル円などクロス円の下落に要警戒。・トルコを巡るヘッドラインには要注意。
- ・昨日2%超の下落となった上海株、2,700Pts割れには要警戒
- ・欧米株先物の動向に注意

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。